

## なぜ HINAMI の映画は出演料が無料なのか

HINAMI の映画づくりは、経済的な利得の獲得を目的とする『ビジネス』ではありません。映画づくりを通して人と人が交わり、楽しみを分かち合い、ともに成長することを目的とする『教育・芸術・文化プロジェクト』です。そのために、HINAMI は 2005 年の発足以来、20 年近くに渡って惜しみなく投資を続け、総額は数千万円にのぼります。これを前提に、参加者には基本的に「手弁当」でのご参加をお願いしてきました。唯一の例外が、出演のために遠方から当地熊本まで足を運んでいただく方々で、渡航費などの諸経費を HINAMI が負担させていたいています。(未成年者の場合には、保護者もしくはマネージャーが1名同行できるようにもしております)

「プロジェクトの趣旨は分かりますが、安くてもよいので出演料を出してもらえませんか」というご意見をいただくことがあるのは事実です。しかし、作品の根幹部分を担う出演者に中途半端な出演料を提示するのは却って非礼にあたるというのが当方の考えです。HINAMI が「出演料無料」を貫き続けているのは、「あなたの存在と演技には、軽々しく値段をつけることなどできません」という出演者に対する意思表示でもあります。

当方自身、本業の傍ら企業の研修やコンサルティングの仕事をお受けすることがありますが、これについては一切のディスカウントも交渉もなく「正規価格」を必ず頂戴するようにしております。しかし、教育機関などからご依頼があった場合には、喜んでボランティアさせていただいております。

しかし同時に、「ビジネスでない＝映画作品の水準が低くてもよい」とは全く考えておりません。HINAMI は「非ビジネス」でありながら、世界一の映画づくりチームを目指しています。20 年足らずで 50 本を超える長編映画を量産し、その都度徹底的な振り返りと改善を行い、今や製作速度は間違いなく世界一であると手応えを感じています。発足 20 年の節目となる 2024 年中に作品の質も世界一に到達させるのが、発足当時からの変わらぬ目標です。

趣旨をご理解の上、ご参加いただければ幸いです。

映画革命 HINAMI 代表 黒川裕一